

谷川 一ノ倉衝立岩中央稜・北稜下降 山行報告



【日時】 2019年5月24日(金) 前夜発

【メンバー】 CL 松原 山本(記録) 会員外 M

【タイム】 5/23 千葉発 20:30→谷川ロープウェイ駐車場 0:00→就寝 1:00

5/24 駐車場出発 4:45(松原出発 4:20)→一ノ倉沢出合発 5:50→テールリッジ 取付 6:20→

中央稜取付・CL と合流・1P 目スタート6:50→衝立の頭(10P 目終了)12:00→

北稜下降開始 12:30→コップスラブ 基部ピナクル(懸垂下降終了)14:15→衝立前沢下降・一ノ倉出合着 15:50→

駐車場 16:45→千葉 20:00

【内容】

一ノ倉登攀は約1年前の南稜以来2回目だ。

今回の目的は、松原さんはソロ登攀の練習。山本は中央稜登攀&北稜下降を経験し、自立を目指すこと。たまたま休みが重なった会員外 M 氏も中央稜は未経験とのことだったのでパートナーをお願いした。岩も酒も大好物の同い年のアラフォー3人組、チーム 82 結成です。

前日 5/23、仕事後に合流し、松原さんのハースで出発。谷川のセゾンで買い出しをし、駐車場にて軽く飲みながら翌日の準備を各々で済ませる。ソロ登攀を計画してから、緊張して眠りが浅いという松原さん…。

岩が脆く落石の危険がある岩壁で、信用度の低い残置支点を使用する一ノ倉のアルピンでは、フリーのゲレンデでソロ登攀をするのとはわけが違います。

そんな岩壁の中で、荷物は通常よりも重く、登る距離は2倍。落ちたらどうなるか分からない恐怖感も重なって、きつと体力は想像以上に消耗するはず。周りも心配しているけれど、一番よくわかっているのは本人です。

クライミングは自己責任。それでも登るという勇気あるチャレンジを止める権利は誰にもありません。

緊張の松原さんは3時半に起きて先に出発するという。翌1時、おやすみなさい・・・

・・・2度寝している松原さんを4時に起こすw

4:20 松原さん出発、私とM氏も朝食を食べて少し遅れて4:45 出発した。

電気バス運行スタートは翌日25日からと看板が出ていた。運行開始前の平日にもかかわらず、私たちの前に3パーティーが一ノ倉に向かっていた。

一ノ倉出合着5:25、トレが開いていてよかった。準備を済ませ5:50 雪渓上を歩き始める。



雲ひとつない青空！！

最高です☆☆☆

雪が多く、テールリッジまでしっかりつながっていた。

松原さんとの間に2パーティーが先行していたが、どちらも南稜とのことで、よかった。

中央稜取付6:45、登り始めようとしている松原さんによく合流できた。

天気良すぎてすでに暑い。松原さん荷物が重かったせいか、背中ずぶ濡れですW

準備が整った松原さん1P目スタート。



松原さんはグリグリ®を使用。登る分だけ時々ロープを片手で出して支点にかけながら登っていく。

1P 終了点から支点を回収しながら一旦下降し、アッセンダーで登り返すという動作を繰り返し登っていく。

時間がかかってしまっでごめんね・・・というけれど、ロープワークはとてもスムーズで、むしろ前のパーティーに追いついてしまうくらい。焦らずにゆっくりで大丈夫よと伝える。さぁ私たちの番。

奇数ピッチを山本、偶数ピッチを M 氏のつるべ(交互)で登攀する事にした。(グレードは体感で記入)

●1P 目Ⅲ級 山本：カテ状スラブから逆層フェース。問題なし。

●2P 目Ⅲ+級 M 氏：階段状カテ。烏帽子側に回り込む。直上のカンテルルート 10a へ入ってしまうパーティーもよくあるようだ。

●3P 目Ⅳ級 A0 山本：高度感のあるカテを右にトラバース、凹角フェース。ビビりまくりだが楽しめた。



3P 目ビビりつつリードする山本



高度感がすごい！！

●4P 目Ⅲ+級 M氏：ソロ登攀の松原さんが追いつくほど前のパーティーが遅い。ロープの流れや声の届きにくさを考え、核心手前でピッチを切る。



一ノ倉出合まで見渡せる♪



核心のチムニーをリード中

●5P 目Ⅴ級 A0 山本：ビビる私にM氏が核心を譲ってくれた。フェースからチムニーへ。途中巨大なヘビが出現し大騒ぎ。チムニー内でリンクカム#0.5 が使えて心強かった。A0 で乗越し終了。

●6P 目Ⅲ+級 M氏：凹状からリッジ、ピナクル脇のビレイポイントまで。声が通りにくいのでロープを引く合図で解除。

●7P 目Ⅳ+級 山本：高度感のあるカンザクに登る・・・た、楽しすぎる。またもやおいしいピッチ。M氏ごめん・・・。

●8P 目Ⅲ級 M氏 階段状の岩、やさしいといってもいやらしいところもあり、気が抜けない。

●9P 目Ⅱ級 山本：草付き・土のルンゼ。途中優しい右の踏み後をたどる。ルート間違えたというネットの記録がよく出ていたところだ。

●10P 目Ⅱ級 M氏：階段状の浮石の多い岩場を上がる。9P 目のビレイ点からルートが屈曲するため、途中の立木に伸ばしたスリングでセルフをとってM氏をビレイ。

衝立の頭着 12:00。お疲れさまでした～！

天気もいいし、景色も最高！松原さんも無事にソロ登攀できたしよかった～！



やったー！おつかれさま♪



いつかは3スラ...

クライミング力も知識もある松原さんと M 氏が色々とアドバイスをくれたおかげで終始安心してリードができた。贅沢すぎます...どうもありがとう。

ここでしばし休憩。重荷で「クライミング」でお疲れ気味の松原さん、美味しそうにハンバーガーを食べています。お疲れ様でした。

クライミングシューズや不要なガチャをしまい、アプローチシューズに履き替え、衝立の頭を背にして左方面の踏み跡を辿る。踏み跡は途中二手に分かれるが、さらに左へ進むとしっかりしたペツルのアンカーがある。北稜下降の支点だ。



北稜下降についてネットで検索すると、迷ったとか、ロープを登り返したとか、挙句の果てに明るいうちに下降しきれずビバークした...なんてものもある。松原さんは北稜下降はすでに5回目とのことで、トップで下降してもらう。

懸垂1回目・2回目はトボ通り、3回目懸垂支点からの下りはよくみれば笹藪の中に踏み跡がしっかりある。60m ロープなら4P目と繋がられる。

衝立スラブ内の懸垂支点は、懸垂しながら右寄りに。右手を見て、支点を見落とさないように。空中懸垂後、衝立スラブ内を振られないようにピナクルまで進む。トップで行ったらここが1番怖そう....。

各支点で必ずセルフを取らないと危険。ズルッと滑るところが所々あった。ロープの末端のほどき忘れ注意。

経験豊富、ロープの扱いも丁寧かつ素早い松原さんのおかげで、北稜下降は完璧だった。6P 懸垂終了のピナクル到着 14:15。

ここからロープをしまい、パイルとアイゼンを装備し、衝立前沢へ向かう。

ここからの物凄い藪漕ぎ&沢下りはアドレナリン全開、想像以上に激しく楽しかった笑！



雪渓も悪い！！



ものすごい藪こぎ・・・

藪に入った所でアイゼンとパイルを外してザックにしまった。余計なものがハーネスについていると藪にひっかかる。ビレイグローブをつければ藪漕ぎで快適。

アプローチシューズの沢下りは滑りそうな岩を慎重に渡り歩き、沢水で靴の中が濡れる。藪漕ぎでずっこけてみたり、手がかりの少ない斜面で木を伝いながらトラバースしてみたり、雪渓の淵を笹を掴みながら下ってみたり。恐くて必死でワクワクする。最後に1回懸垂して雪渓を歩き、一ノ倉本谷に戻ってこれた！

一ノ倉出合い 15:50 着。荷物を整理して、16:45 に駐車場に戻ってきた。

下山はもしかしたらヘッデンになるかも...と危惧していたが、天気にもメンバーにも恵まれ、明るいうちに帰ってこれた。中央稜も北稜下降も、何もかもうまくいった。

「ああ、楽しかったなあ...いい日だった。」緊張感と達成感があってこそ、そんな言葉を3人ともふと漏らしてしまうほど、充実した素晴らしい1日だった。松原さん、M氏、ありがとうございました。

